

MyStars 通信

No.42

December 2015

マイスターズ登録者の皆様いかがお過ごしでしょうか。『MyStars通信』42号ができましたのでお送りします。2015年10月末現在の登録者数は9388名です。



金比羅神社と星空

金比羅神社は豊岬漁港の南にあります。昔、香川県にある金比羅神社のお札が流れ着きました。そこでこの場所に祠をつくって祀ったのです。その御利益か、それまで何度となく起きていた海難事故がピタッとなくなったのです。

海岸に建てられた鳥居は潮の満ち引きにより、陸に上がったり海に戻ったりします。鳥居の向こうに沈む太陽が見られる絶景のスポットにもなっています。この周囲には照明がないため、夜になるとまっ暗で足下も見えません。撮影したときはちょうど鳥居の上に北斗七星が輝いていました。

登録数はおおぐま座が395、りょうけん座は59、りゅう座は309です。

綺羅星・星座ガイド

○牡牛座

おうし座は星占いでもおなじみの星座で、冬の星座の一つです。秋も深まると東の空に現れ、星座絵を見るとオリオンと闘う姿に見えますが、神話では直接的な関係はないようです。

おうし座にはアルデバランというオレンジ色の1等星があります。ちょうど牛の目に位置する場所にあり、荒々しい猛牛の目を彷彿とさせます。アルデバランの周りには“V”を横にしたような星の群れが見えます。これはヒヤデス星団という星160個ほどの群れで、140光年という近い距離にあるため大きく広がって見えるのです。アルデバランはヒヤデス星団の中の星のようですが、実際にはずっと手前の70光年の距離にあり、たまたま重なっているだけです。この星団の中には二重星も多く、双眼鏡で見えるものや、望遠鏡を必要とするものまでいろいろありますが、アルデバランもその一つで、1.1等星のアルデバランから角度で2' 離れて10.9等星の伴星があります。伴星が暗いので口径10cm以上の望遠鏡が必要でしょう。

ヒヤデス星団の右上にゴチャゴチャと集まる星の群れがあります。これはプレアデス星団（すばる）としておなじみの星の群れで、ヒヤデス星団よりずっと遠く440光年彼方にあります。肉眼でも5～7個ほど見えますが、実際には120個ほどの青白い星の集団です。肉眼でいくつ見えるか試してみてください。青白い星は表面温度が1万5000度以上もある熱い星で、その分燃料の消費もはげしく、寿命はわずか1億年で尽きると考えられ



フレアデス星団



ています（太陽は100億年）。写真では星団の周りに青白い星雲が写っていますが、星団の周辺にある星間ガスが照らされて光っているもので、星団とは直接関係ありません。

牛の角の近くにM1という星雲があります。この星雲を詳しく観測したロス卿が『蟹のようだ』といったところからカニ星雲と呼ばれていますが、日本人が見つけていたら“佐渡島星雲”

になっていたことでしょう。これは1054年に現れた超新星の残骸で、今でも秒速1300kmという猛スピードで広がり続けています。星雲は暗いので肉眼では見えませんが、小型の望遠鏡でシミのように見えますが、大きな望遠鏡で佐渡島のような形が見えてきます。

毎年10月から11月にかけて流星群が見られます。南群と北群の二つからなり、数は少ないものの“火球”と呼ばれる明るい火の玉のような流星です。流星群の産みの親は3.3年周期で回るエンケ彗星です。

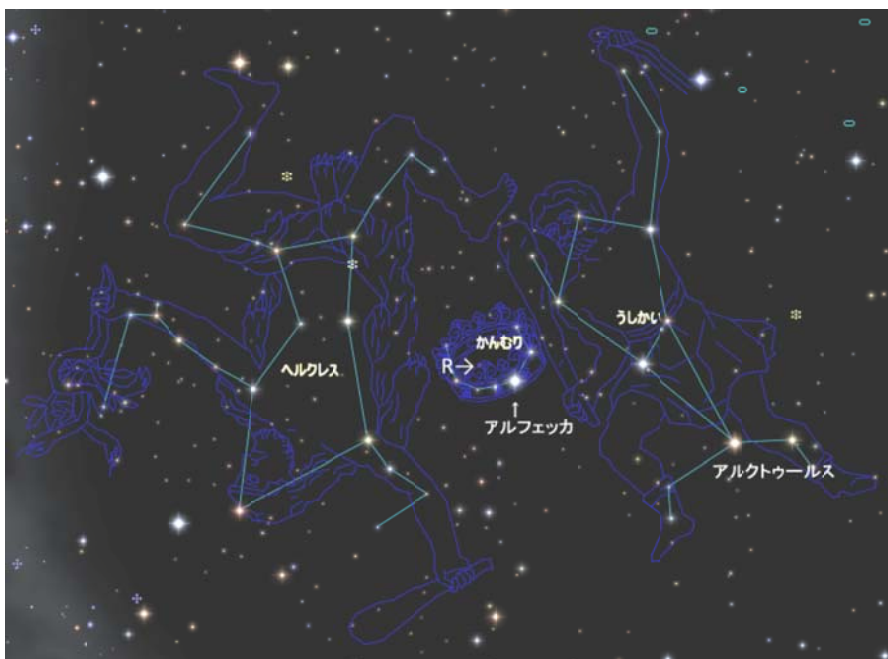
カニ星雲



○冠座

かんむり座は夏の星座の一つで、うしかい座とヘルクレス座に挟まれた半月型の小さな星座です。日本では『鬼の釜』『太鼓星』など、オーストラリアの先住民アボリジニはブーメランに見立てていたそうです。ギリシャ神話では、酒の神デュオニソスが、クレタ島の王女アリアドネに贈った冠とされています。

かんむり座は小さいながら見つけやすい星座ではありますが、見て楽しくなるような星が少なく、ちょっと寂しいです。



かんむり座で一番明るい星はアルフェッカ（半欠け皿）という2.2等星で、星座の形を半分に割れた皿に見立てて付けられた名前です。この星にはゲンマ（真珠）という名もあります。

かんむり座には注目される変光星（明るさの変わる星）が二つあります。一つはR星で、もう一つはT星です。R星は気まぐれに明るさを変える星で、いつもは6等星くらいで見えているのですが、ある日突然暗くなって視界から消え、15等星まで暗くなります。そしていつの間にか元に戻っているのです。変光の原因は、大気中にある炭素（煤）が出たり消えたりするためと考えられています。T星はR星とは逆で、いつもは11等星くらいですが、突然明るくなって肉眼で見えるほどになり元に戻ります。このような星を反復新星と言います。

○南魚座

みなみのうお座は秋の星座で、みずがめ座の南にあります。星座絵を見ると、水瓶からこぼれ落ちた水が南の魚の口へと流れ込んでいます。ギリシャ神話では愛と美の女神アフロディテーの化身と言われています。

みなみのうお座は南に低く、北海道では地平線の少し上に見えるためあまり目立たない星座ですが、南の地方では高く上がります。この星座にはフォーマルハウトという白い1等星があります。秋の星座の中ではたった一つしかない貴重な1等星ということになります。



フォーマルハウトは距離が22光年と近く、明るさは太陽の15倍ほどあります。

一見何の変哲もない星ですが、ハッブル宇宙望遠鏡によって2008年に惑星が発見されました。この惑星の大きさは木星の0.5～2倍と見られ、872年周期で回っているそうです。また、この惑星には環があるらしいこともわかっています。フォーマルハウトの右下にベータ星があります。4.4等星と7.9等星からなる二重星ですが、口径6cm程度の望遠鏡でも見られます。

綺羅星列伝

今回は3遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお願いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名称 : 113RAI

113RAIは、ごろあわせとローマ字です。113RAI(いいみらい)

自分にあった夢を見つけて自分の思いをつらぬいていく＝かんたんにはまげない思いをもち、自分のいい未来にむかってあゆんでいきたいです。

ぼくが大人になったら、ほかの人が、未来への道がわからない時、後押しできるようにがんばります。

自分の夢を見つけて、いい未来をめざします！！

人の後押しもする。人間同士助け合いながら生きてゆきます。

自分のためより、人のやくにたつほうが、人生は輝く。

星の名称 : KAKUSEI

自分の誕生日と結婚15年目の記念として登録しました。

自分自身と家族のためにより、自分を高めていきたいという想いを込めて、覚醒（KAKUSEI）という名前を考えました。

自分を見失いかけた時、MyStarに支えてもらえる気がしています。

星の名称 : Mからはじまる物語 -Miracle Noah-

M-1 疲れていた。ただ疲れていた。

動かぬ空気は彼の体のまわりだけまわりつくように重かった。

人を信じる事の代償をつくづく恨む気持ちで正巳は夜空を見やった。

ふと意味もなく『星に祈りを』のメロディーが頭をよぎったが、とても口ずさむ気すら起こらなかった。

そのかわり彼はそっと呟いた。

「神も仏も人の心の中にあると信じてきたのに・・・」

M-2 葉鶏頭の真っ赤な花が暑さを増している会社の玄関先。油蟬が余計に正巳を苛立たせているのかもしれない。

『ゆめかご』こそは彼正巳の支えそのものであったのに。

心なき人の心なき一言「ギゼンシャ」。

誤解が誤解を呼び、微妙に狂った歯車が軋みだすと大人の世界ではあっという間に亀裂が入る。

M-3 ー 新田さんは『ゆめかご』を政治的に利用して国会議員になろうとしているそうだよ。

ー それだけじゃないさ。いろんな慈善団体使ってさ、結構浦でポロ儲けしているってさ。

ー あんな善良そうな顔で腰の低い誠実そうな態度も、みんなぜ二儲けの為なのかい。

・・・・・・・・・・。ああ。

M-4 飲めぬ酒は体に悪い。しかも心を癒してくれる訳でもなかった。

やっと自宅に戻った正巳は朦朧とした眼で食卓の掛時計を見た。

静かなその空間は既に午前2時をまわっていた。

彼はかなり酔ってはいたが、妻と娘達に心配かけまいと、そっと板の間を歩きやっこのこととテーブルについた。

そして、ものうげに一つ欠伸をした・・・。

M-5 「お父さん、お父さん」

「今年は乗鞍をみんなで歩くのよ」

「お弁当は私達で作るから」

「写真だってこれからは自分達で撮るからね」

「疲れたら末希が手をひいてあげる」

「増穂が荷物持つよ」

「皆美だって後ろから押すよ」

「みんなお嫁にいても山歩きは続けましょうネ」

明るい声と笑顔があふれている。そうだこれが新田の家族だ。

優しさ・おもいやり・元気・仲良し・・・。

これだ、これだよ。

M-6 いつの間にか疲れてうたた寝をしていたらしい。

情けなくも、よだれをくっていた自分に苦笑いして正巳は眼をさました。

「オイオイ、また家族に助けられたヨ」

（会社で社長、家庭では主。息をきらして背負ってるつもりが、実は手を引かれていたりして。）

急に元気が出た彼は「さて、寝るか」と伸びをしてトイレに向かった。オヤ？何か貼ってあるぞ。

おかえり、お父さん。何があっても、あなたは世界一のお父さん。私たちみんなの誇りです。自信をもってゴーゴーゴー！

ー美穂 末希 増穂 皆美ー

うーん、そういえばオレも含めて頭文字がみんなMで始まるんだな。

ヨォーシ、明日もがんばるか。

こちら情報室

○天文情報（12月～5月）

流星・彗星

●ふたご座流星群（12/5～12/20）

ふたご座のカストル付近を中心に流れる流星群で、毎年見られる流星群の中では最も活発です。今年は満月と重なり、放射点と月が近いため条件は最悪です。月を背にすると多少は見えるでしょう。今年の極大は14日です。

●しぶんぎ座流星群（1/4）

夜明け前に放射点が高くなるので、夜明け前に多くの流星が見られます。2016年は、極大が4日夕方になるため極大付近が観測できません。また、下弦過ぎの月があるため多少じゃまになります。

●こと座流星群（4/10～11/5）

こと座のベガの近くを放射点とする流星群で、2016年のピークは22日15時前後ですが、満月のためあまり期待はできないでしょう。

●みずがめ座 η 流星群（11/5～11/25）

北日本では放射点が高くなるころには空も明るくなり、ほとんど見ることはできませんが、西日本では1～2時間くらい見られます。ハレー彗星由来の経路の長い流星です。2016年の極大ころは月明かりはありません。

◎彗星

2016年の前半は明るくなる彗星の予報はありません。今後発見されて急速に明るくなるものがあるかも知れません。ニュースに注意しましょう。

日食・月食・星食

●アルデバラン食：2月16日の夕方全国で見られます。

●部分日食：3月9日インドネシア方面の皆既月食が、日本では部分日食としてみられます。9時過ぎに始まり12時前に終わりますが、欠け方は南ほど大きく北へ行くほど小さくなります。



惑星

●水 星：2月7日は明け方の東空で、2月7日と4月18日は夕方の西空で最大離隔となり見やすくなります。

●金 星：明け方の空でしだいに遠ざかるため観望には適しないでしょう。

●火 星：5月31日に地球に最接近します。4月ころから見やすくなるでしょう。

- 木 星：3月8日に地球に接近し7月まで見られます。
- 土 星：6月3日に地球に接近し10月まで見られます。
- 天王星：2月29日に合（太陽の向こう側）になりしばらく休みです。
- 海王星：年内は見やすいですが、4月10日に合になります。

5月から7月にかけて、夕空に木星、火星、土星がそろって見られます。火星は2年ぶりの接近で見やすくなっています。図は6月1日午後9時ごろのようすです。



[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mailどちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My S t a r s 通信」の送付について、登録番号9388までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方、すでに郵送希望のお申し出をいただいている方につきましては、今後とも郵送することで考えておりますので、希望者にはご一報いただきたくお願いします。

~~~~~

#### [編集後記]

この夏も雨に泣かされた日本列島でした。今年の初山別は異常天候に見舞われ、例年ジメジメするはずの7月がさわやかで晴天の日も多く、想定外の星空が見えました。ところが晴天に恵まれるはずの9月は曇りがちで、10月に至っては、大陸に上陸した台風から変わった低気圧により、猛烈な風に見舞われ、初めてドームに被害が出ました。ドームのトタンが飛ばされて無残な姿に…（ホームページに公表済み）。その後もほぼ1週間ごとに強風がやって来ました。

天文台は12月1日から2月末まで冬休みになります。休館中の業務は教育委員会にて行っています。

(K)

|           |                                                                                                            |                             |                    |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------|
| 編集・発行     | しょさんべつ天文台                                                                                                  | 〒078-4431                   | 北海道苫前郡初山別村字豊岬153-7 |
| 天文台ホームページ | URL= <a href="http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/">http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/</a> |                             |                    |
| E-Mail    | 教育委員会                                                                                                      | shkyoiku@saturn.plala.or.jp |                    |
|           | しょさんべつ天文台                                                                                                  | tenmon@aurens.or.jp         |                    |